

その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.052

a taste of Yassy

田中 康夫



たなかやすお●'56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選、
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。【公式ブ
ログ】www.nippon-dream.com/



Yassy

創業半世紀、高度成長期を生きた日本人の誇りと安らぎ漂う洋食店

今週の逸品



ロールキャベツシチュー 1貫450円

ロールキャベツシチュー定食 (780円) は正しくアカシア。2貫入り。現在は単品で1貫 (450円) 2貫 (780円) 3貫 (1150円) 也可。古参のハヤシライス (1100円)、新参の樺辛カレーライス (1100円) も推奨。ロ

ールキャベツとハンバーグのセット (1200円) を初回には推奨。ジャズが流れる店内には学園紛争時は“アメ帝反対”の団塊世代も訪れたかと想像すると微笑を禁じ得ず。

【アカシア新宿本店】東京都新宿区新宿3-22-10 ☎03-3354-7511 営10:00~22:30 (L.O) 無休 分煙 <http://www.restaurant-acacia.com/>

Illustration by Hajime Anzai



武蔵野赤十字病院で1956年4月に生まれた僕は、北多摩郡田無町、現在の西東京市で育ち、小学2年に進級する1964年春、上田市に移り住みました。東京オリンピックは、その秋に開催。池袋や新宿、渋谷を走っていた都営トロリーバスが廃止されるのは1968年。その前年、首都高速都心環状線が全通しています。年に1、2回、両親や妹と共に上京し、池袋の西武百貨店や新宿の伊勢丹で洋服を買って貰うのが楽しみだった僕は、明治通り沿い

に張り巡らされた架線が撤去される場面に遭遇し、軽い喪失感を抱いたのを思い出します。神田駿河台の予備校に通うべく再び「東京」に戻るのは1975年。総武線下総中山駅の南方に当時存在していた駿台中山学生寮に入寮すると、熊本出身の「多浪」生が居ました。御多分に漏れず、彼は授業には余り出席せず、が、夜の帷に包まれる時になると、後輩の我々を誘って新宿へと繰り出すのでした。民事再生法を一昨年末に申請し

た「桂花ラーメン」も、教えてくれたのは彼でした。その日の気分では、歌舞伎町で行き付けの複数の、往時は「レディスコンパ」と呼ばれた今で言う所の「ガールズバー」から一軒を選び、カウンター越しに女性と大人の会話をする一方、我々には人生訓を垂れるのでした。帰りに立ち寄るのが桂花だったなら、「アカシア」は行きしなに腹捲りする場所でした。アカシア1年生の秋口から、新宿武蔵野

館の三愛で半年近く勤務します。大学生を対象に募集していた、これも今で言う所の契約社員として女性服の販売を担当しました。8時の閉店後、同僚と連れ立って、或いは一人で頻繁に訪れるようになり。往時は、切り込みが入った2本のソーセージの上に目玉焼きが付いたペバロニソテー+ライスも存在。女給さんの呼称がお似合いな従業員が、ペバ1丁と符丁で伝えていました。キャベツが符丁のロールキャベツ2貫入りシチュー+ライスは昔も今もアカシアの定番です。久方振りに出掛けると、1貫、3貫も誕生していて、更には料理の品目もセットの選択も大幅に増えている、星霜を感じさせます。ペバの復活を望むや切。が、店舗は倍の広さとなろうとも、供し手の温性の細やかさは従前の通り。ペバと並んでお気に入りだったハンバーグの味わいも変わりません。思えば、ナツメグの香りを知ったのも36年前のアカシアでした。僕が小学校に入学した1963年創業。都電やトロリーバスが東都を縦横に走り、帝都高速交通営団の地下鉄丸の内線も、赤地塗装の中期に正弦曲線のステンレス波形が描かれた白帯入りの鋼鉄車両だった時代。アカシアには、高度成長期を生きた日本人の誇りと安らぎが今も漂っている。そう感じます。